



マネージャー通信

選手権特集



一回戦 都・日野台

10月9日 森ヶ崎公園



2021高校サッカー選手権大会予選第一回戦の相手は、都立日野台。

使い慣れたグラウンドでの試合の良いところは、芝の感触を理解している点。

逆に、緊張感が無くなってしまわないかと心配な点もありました。

ですが、サポートを含め選手たちみんなで気を引き締めて良い緊張感を持って挑めたと思います。

リーグ戦とは違う慣れない空気感の中でお互いに鼓舞し合い、最後まで走り抜けたと思います。

二回戦 日大二

10月17日 堀越学園G



2回戦は、日本大学第二高校。

試合前はずっと雨が降っていて、ピッチはスリッピーになっていました。

バスの中で天候、気温などをみんなで共有して良い雰囲気だったと思います。

前日に3年副主将の柴崎が前年度の日大二高との試合の動画をサッカー一部のグループLINEへ送ってくれました。

こういった行動が「勝ちから逆算して行動する」ということだと改めて思いました。

PKでの一点を最後まで守り、勝ち抜き、ゲーム内容も良かったと思います。

また、ベンチのメンバーやサポートメンバーもチームの一人としてよく行動していました。

三回戦 早稲田実業

10月24日 東久留米



3回戦の相手は、早稲田実業。

私は、現地で応援やサポートすることはできませんでしたが、配信で選手たちを信じて応援していました。

アシスタントの3年大貫をはじめとする、サポートの選手やベンチメンバーがテキパキと行動してくれたこともチームの勝利に大きく影響してると思います。後半での追加点を配信で見ていると、初めてみんなの喜んでいる顔や声を画面越しに見ましたが、本当に嬉しそうでした😊

気持ちを緩めずに最後まで戦っている選手の姿を見てすごく感動しました。

試合後に選手たちが報告の連絡をくれてとっても嬉しかったです！！

準決勝 関東第一

11月7日 西ヶ丘



やっとの思いで立った西ヶ丘。相手は、T1所属の関東第一。

3回戦後からは、今までで1番早く感じた2週間でした。

試合を重ねるごとに練習の強度や練習に挑む気持ちが上がっていき、
感じられて、応援されるということにふさわしいチームになりました。

当日、西ヶ丘のグラウンドに着いて入場した時に私は、緊張で押しつぶされそう
になりました。選手からも緊張している様子がうかがえました。

関係者や本部運営、取材やスカウトの大人の数だったり、1試合目の帝京と大成
の試合の雰囲気や声などが初めて感じるものでした。

「いつも通りの動きをしよう。」ある3年生が毎試合、言っていた言葉です。

西ヶ丘でも試合前にみんなへ言っていました。この言葉のおかげで、次第に緊張も解け、いつも通りの大森学園サッカー部の動きができたと思います。

私もいつも通り試合の準備ができました。

試合開始前は気の引き締まった、でも明るい雰囲気でした。

メンタル講習で学んだ「梵字徹底」をサッカー外、試合前、試合中、試合後にもみんな意識して取り組んだこの1週間は、無駄ではなかったと試合中にふと思いました。

結果は、負けてしまいましたが全員が全力で最後まで試合に取り組んでいました。

TOPのメンバーがトレーニングをしている時に横断幕やのぼりをつける練習をしていたSTのみんな、横断幕にメッセージを書いてくれた一般の生徒、

モチベーション動画のがんばれりレーに協力してくださった先生方、選手の友人、3年生の親御さん、そしてずっと選手の1番近くで応援してくださった家族の方々にはとても感謝しています。

皆様が応援してくださったパワーは選手にとって、部員にとって、とても大きなものになったと思います。

来年もまた西ヶ丘へ必ず戻ってきます。

これからも大森学園サッカー部をよろしく願いいたします。

